



聴講者募集
無料

令和4年度 第3回れきみん講座

「香川の主な漁業の歴史」

元水産試験場長による漁業の歴史シリーズ最終回

瀬戸内海の豊かな資源と穏やかな環境を利用して香川の漁業は展開されてきました。

古くからタイ・サワラ・イワシを中心に、様々な漁法で漁獲するとともに、戦後はハマチ・ノリ養殖が主幹漁業として発達しました。

今回は、かつて最も主要な漁業であったタイ漁と、小エビやカレイなどの底魚をとる底びき網漁などをとりあげて、香川の漁業の歴史を紹介します。



タイの豊漁



底びき網漁船



小エビ

◆ 日時 令和4年 **9月24日** (土)

午前の部 10:00 ~ 11:00

午後の部 13:30 ~ 14:30

※新型コロナウイルスの感染状況により延期や中止になる場合があります。

◆ 会場 瀬戸内海歴史民俗資料館 研修室 (高松市亀水町1412-2 五色台山上)

◆ 講師 主任 川西 敦 (元香川県水産試験場長)

◆ 定員 各回14名(先着順)

◆ 聴講料 無料

◆ 申し込み方法 電話でお申し込みください。
※氏名・電話番号・講座名(午前・午後)をお伝えください。

◆ 申し込み期間 9月6日(火)から 定員になり次第終了

◆ 申し込み先 TEL087-881-4707 (瀬戸内海歴史民俗資料館)